

# 令和4年度 慢性腎臓病（CKD）診療連携構築 モデル事業 報告

神奈川県健康医療局保健医療部がん・疾病対策課

# 神奈川県概要

## 地域の状況

総人口 9,222,108人（令和5年4月1日時点）

高齢化率 25.8%（令和4年1月1日時点）

透析患者数 22,489人（令和3年12月31日時点）



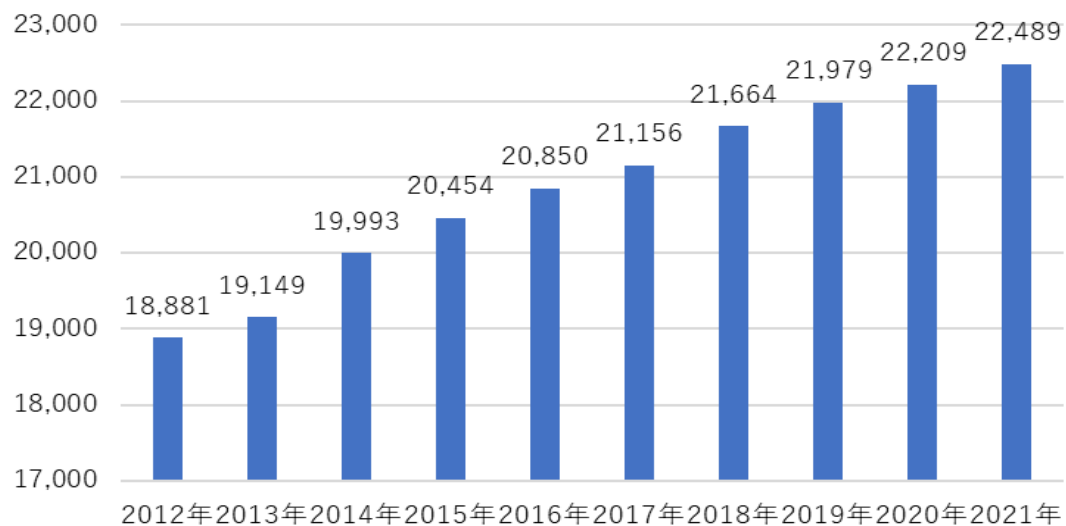
## CKD対策事業の背景

- 透析患者数は微増傾向にあり、新規透析導入患者数も横ばいで推移している。新規透析導入患者数のうち糖尿病性腎症の割合は減少傾向にあるが、糖尿病以外を原疾患とする部分も含めて包括的なCKD対策を進めていく必要がある。
- 新規透析導入患者数の減少には早期発見、早期治療が重要である。そのためにはかかりつけ医と腎臓専門医の二人主治医制度、多職種連携を含めた診療体制の構築が必要。
- また、糖尿病を原疾患とする透析患者の割合が一番多いため、腎臓専門医と糖尿病専門医の連携も考えていくべきである。

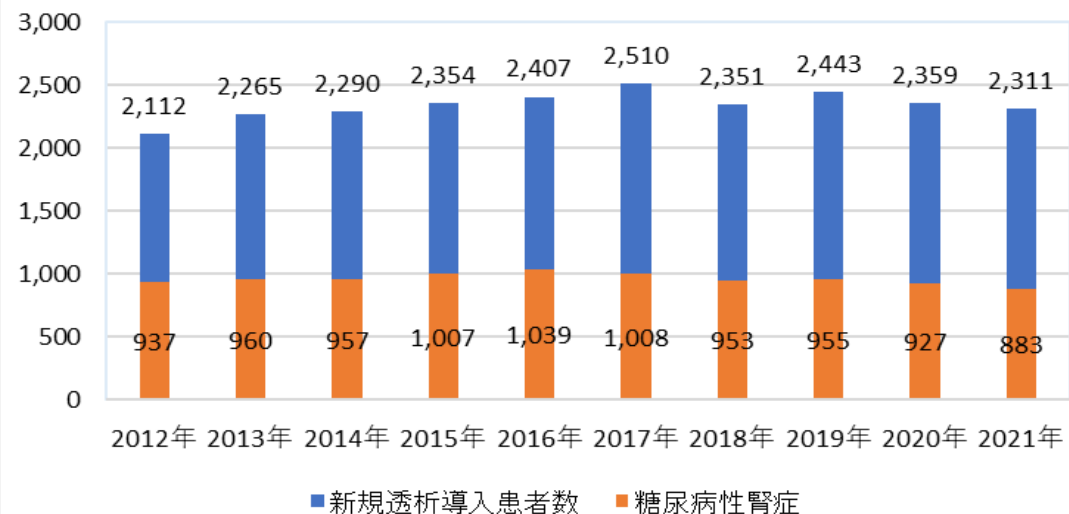
## CKD対策事業の目標

- 糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数 925人（令和3年時点 883人で達成）
- 年間新規透析導入患者数の減少

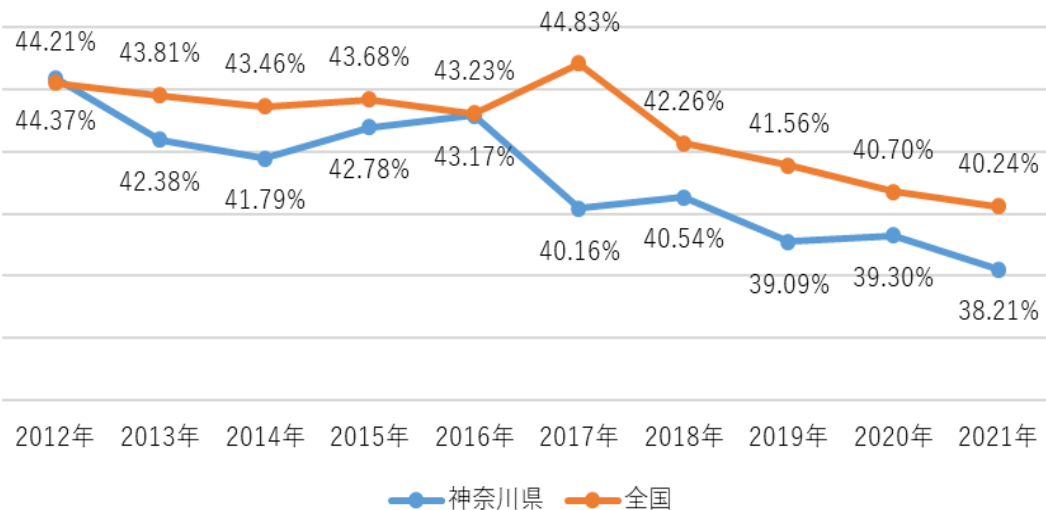
透析患者数



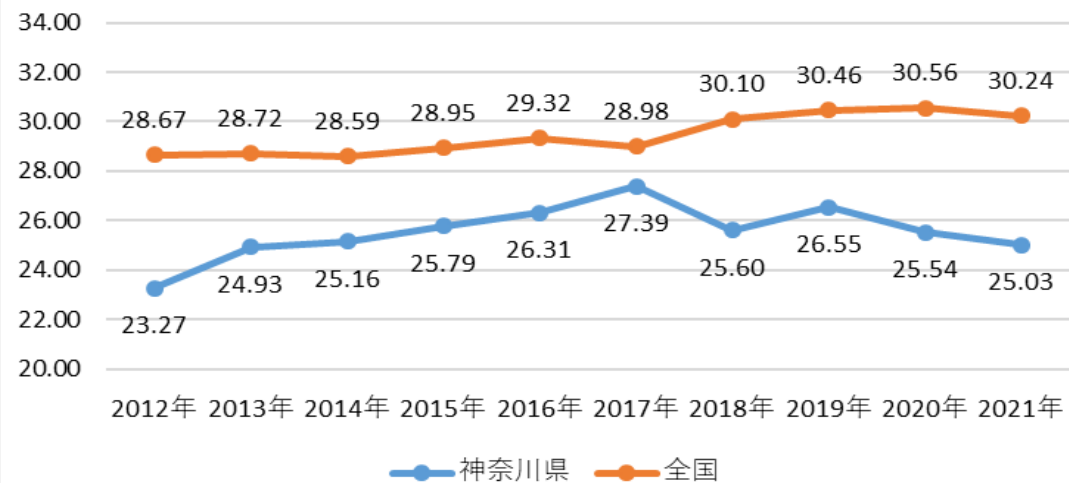
新規透析導入患者数と糖尿病性腎症



新規透析導入患者数に対する糖尿病性腎症の割合



新規透析患者数 人口10万人対



# CKD会議体について

## 神奈川県慢性腎臓病（CKD）対策連絡協議会

### 【目的】

慢性腎臓病（CKD）について、広く正しい知識の普及に努め、予防、重症化の防止を図ることを目的として設置された。年度内1回程度開催。

### 【協議事項】

- (1) 患者等一般向けの講演会等の開催に関する事項
- (2) 病院や診療所等医療関係者を対象とした研修の実施に関する事項
- (3) 慢性腎臓病CKD診療に関わる医療機関情報の収集と提供に関する事項
- (4) 慢性腎臓病CKDの普及啓発に関する事項
- (5) 事業評価の実施に関する事項
- (6) その他慢性腎臓病CKDの予防や重症化防止に必要な事項

### 【構成員】

- 腎臓専門医 ○県医師会 ○薬剤師会 ○栄養士会
- 看護協会 ○政令市・中核市 ○市町村代表
- 保健所代表 ○患者会

## 神奈川県慢性腎臓病（CKD）診療連携構築協議会

### 【目的】

慢性腎臓病（CKD）について、診療連携体制を構築することを目的として設置された。年度内1回程度開催。

### 【協議事項】

CKDの診療連携体制について。

医療保険者の協力のもと、慢性腎臓病（CKD）の患者を抽出し、かかりつけ医や腎臓専門医の診療へ繋げることも診療連携の取組みのため特定検診に係ることも含む

### 【構成員】

- 腎臓専門医 ○県医師会 ○薬剤師会 ○栄養士会
- 看護協会 ○医療保険者（国保） ○医療保険者（健保連）
- 医療保険者（協会けんぽ） ○患者会

情報共有

情報共有

# CKD対策の取り組み

## ①-1 普及啓発

慢性腎臓病（CKD）の予防、重症化防止の知識を県民に普及啓発することを目的として、医療講演会及び相談会を特定非営利活動法人神奈川県腎友会に委託し、年度内に2回開催する。

## ①-2 普及啓発

### ○県民向けリーフレット

広く慢性腎臓病（CKD）の普及啓発を目的とする。

### ○かかりつけ医向けリーフレット

腎臓専門医への紹介の基準、糖尿病や高血圧等の患者に対する腎機能低下の予防方法、腎機能に影響する薬などについて啓発を行うことを目的とする。



## ②人材育成

慢性腎臓病（CKD）の予防や重症化防止、透析導入の防止を目的として、特定非営利活動法人日本腎臓病協会との共同で、医療従事者向け研修会を開催する。

## ③診療連携体制の構築

かかりつけ医から腎臓専門医への診療連携による慢性腎臓病（CKD）の診療連携体制を構築する。

- ➡ ○県内の腎臓専門医分布リスト
- 診療情報提供に係る共通様式 などの作成

## ④広報

県のホームページや県のたより等による広報を行ったり、各種講演会等の後援を行う。

## 横須賀市におけるCKD対策について

### ○横須賀市検診センターにおける取組

集団健康診査において、血液検査の中で腎臓機能検査を行い、結果通知にeGFR値を表記し、慢性腎臓病の予防を含めたeGFR値についての説明を行っている。

また、センター内にはパンフレットを配架することで、腎症に対する意識啓発を行っている。

### ○横須賀市健康管理支援課における取組

#### 1 糖尿病性腎症重症化予防事業

##### (1) 内容

糖尿病性腎症の重症化のリスクが高い対象者に対して、腎不全及び人工透析への移行を防止することを目的として、かかりつけ医との連携のもと、服薬、食事、運動等の生活習慣全般に係る保健指導を6カ月間実施する。

##### (2) 対象者

令和3年度横須賀市国保特定健診受診者で、a～dいずれにも該当する者

- a. 糖尿病に関する治療を受けている
- b. eGFR60mL/分/1.73m<sup>2</sup>未満
- c. 特定保健指導非該当者
- d. かかりつけ医が横須賀市医師会の医療機関であること



# 管下の市町村におけるCKD対策の取組例

## ○横須賀市健康管理支援課における取組

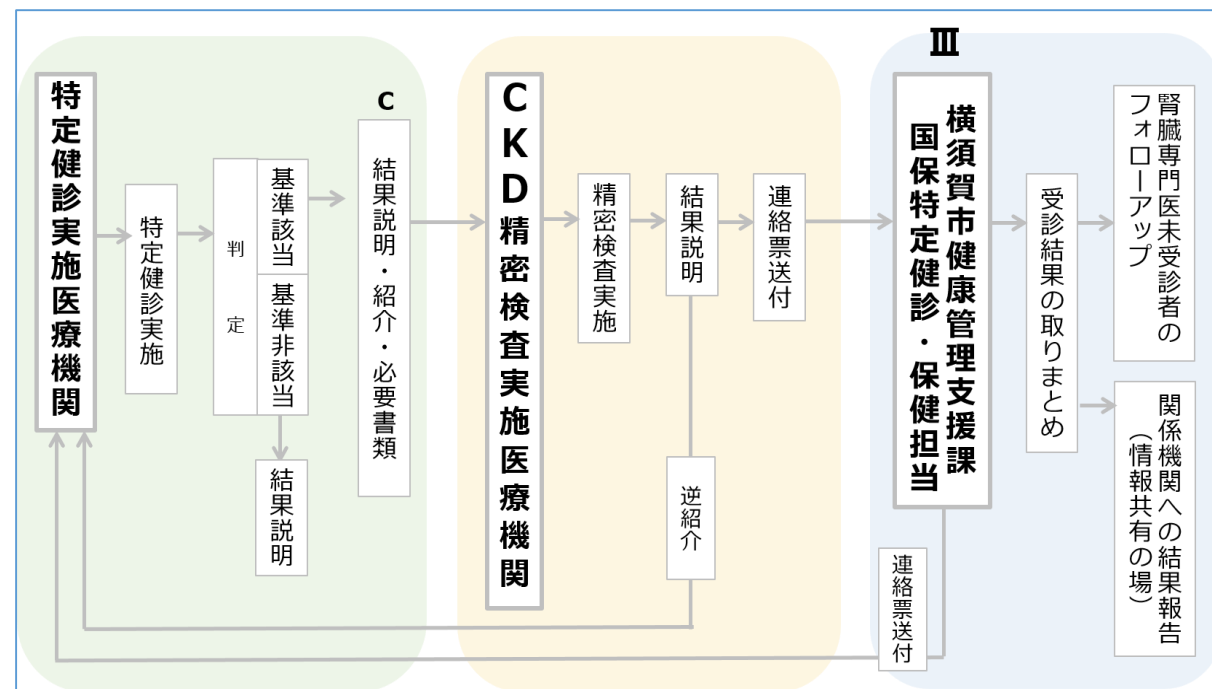
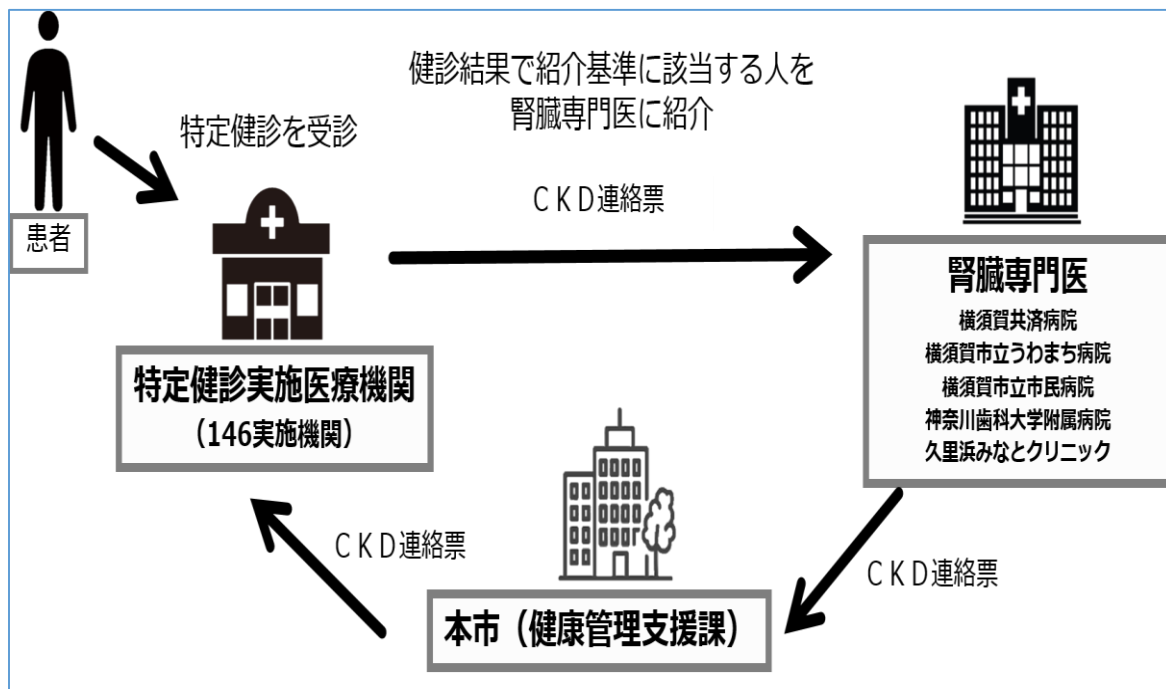
### 2 CKD病診連携システム

#### (1) 内容

CKDの重症化を防ぎ、新規人工透析への移行を防止することを目的として、特定健診受診者でCKDが疑われるものに対して、健診医が結果説明時にCKD精密検査実施医療機関を紹介し、早期に腎臓専門医への受診につなげる仕組みを構築している。

#### (2) 対象者

腎臓専門医への紹介基準に該当した特定健診受診者



# 診療連携体制構築に関する課題

課題 1  
県民への受診勧奨



## 対策 1

現状、広報や県民向けリーフレットで周知しているが、今後も普及啓発を行い、より多くの方にCKDについて認識してもらい特定検診等を受診してもらう必要がある。

課題 2  
紹介基準表の周知



## 対策 2

現状、かかりつけ医向けリーフレットで周知しているが、今後も継続して行っていく必要がある。

課題 3  
診療情報提供書の共有



## 対策 3

紹介を受けた腎臓専門医が、必要な診療情報を把握するための提供書について共通の様式を作成し、共有する必要がある。

課題 4  
腎臓専門医の数



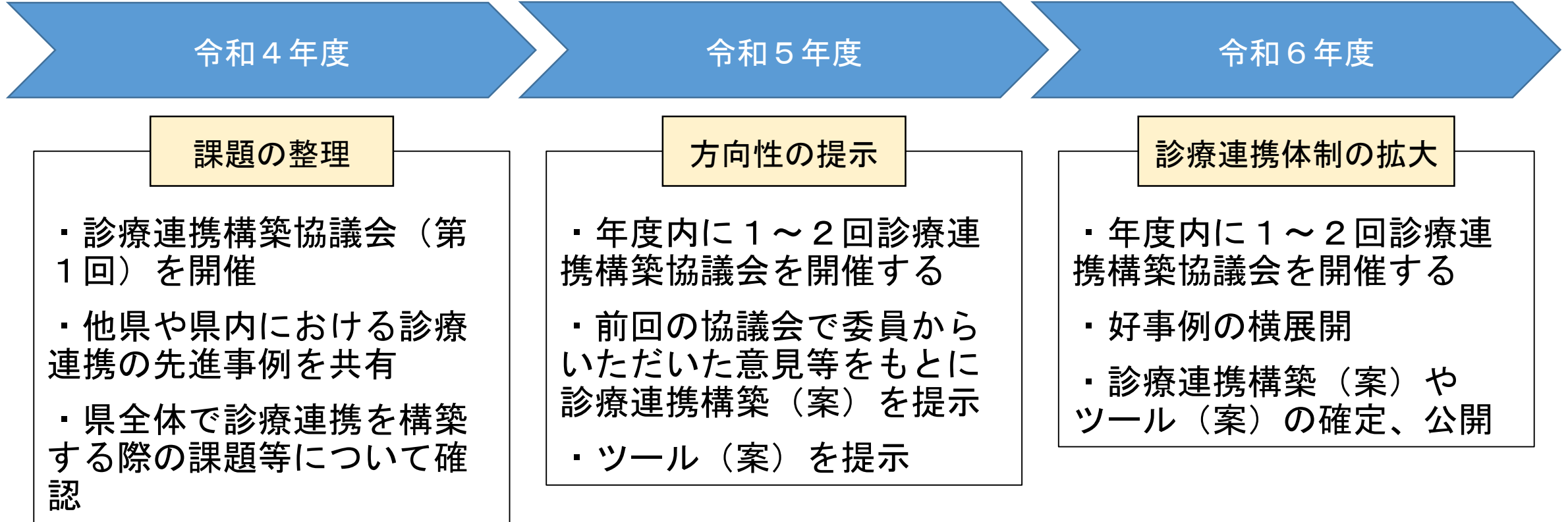
## 対策 4

紹介されてくるCKD患者を診療するだけの腎臓専門医が地域別に足りているか確認するための県内地域別の腎臓専門医リストを作成し、公表する必要がある。



# 今後に向けて

## ○今後のスケジュール



## ○検討事項

- ・ 県内の特定検診でのeGFRの実施割合について調べる
- ・ データ分析及び事業評価を実施し、実施内容を見直す
- ・ 糖尿病所管部署を含む関係機関と連携を図り、CKD予防体制を構築していく